

第8回熊谷市総合戦略有識者会議

■議事（意見交換）

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----|---|
| | （1）熊谷市の現状と総合戦略の取組状況について |
| 事務局 | 資料1、資料1-2により、総合戦略の基本目標別KPI、定住促進の取組状況について、交付金対象事業の成果について説明 資料1 熊谷市総合戦略の基本目標別のKPI、人口動態 資料1-2 くまがやで暮らす（転入・定住促進の取組状況） 資料2 地方創生に係る国の交付金等対象事業の成果について |
| 委員 | KPIの設定、事業の最終目的を考えたものなのかどうか。前回より良いが、データを活用し、三世代住宅助成などの良い取組もある中で人口を減らさないような仕組みをどう水平展開していくことが大事であることをよく認識すべきである。1,000人の転入者をどうキープしていくのか。会議やプロジェクトチームで議論すべきである。民間まで波及し、広げていくことが最終的な目標である。 また、DMOについてだが、片倉シルクの看板を何とか設置できないか。 |
| 事務局 | 三世代住宅助成については、転入者の内訳を分析・検証したうえで、さらに達成率向上に向けて取り組んでいきたい。片倉の看板の件だが、過去にも、事業者・地主さん・国道事務所で設置について協議させていただいたことがある。博物館という性質上、華やかな看板設置には消極的であったこと、少し離れた土地で看板設置できる土地を探したものの見つからなかった等の理由で、実現しなかった経緯がある。 |
| 委員 | 片倉の社長と商工会議所も縁はある。どうしたら設置できるか、考えて欲しい。 |
| 事務局 | 関係課と連携しながら、進めていきたい。 |
| 委員 | ラグビーワールドカップ終了後のラグビー場の活用について聞きたい。試合数やランニングコストはどの程度か聞きたい。 |
| 事務局 | ラグビー場は県の施設であり管理や主な運用は県が主導で考えつつ、市の立場としても施設の集客力、誘客力を使って活動していきたい。現在、トップリーグの試合の誘致等行っているが、今後の試合数は分からないが、トップリーグやイベント等の誘致を行って集客につなげ、熊谷駅周辺の活性化等に生かしたい。ランニングコストについては、県負担であり市の負担はない。 |
| 委員長 | 現在、ラグビー場の改修工事を行っており、8月に終了する予定。県予算120億円と言われているが、これに関して市の負担はない。改修後は常設で24,000人収容可能だが、改修工事後の仮設スタンドの設置、2基目の映像機設置が必要で、市も若干の財政負担があり、今年度予算にも計上している。今後も、基本的には市の負担はないが、市が主体的に誘致する試合などでは会場使用料の負担等は考えられる。 |
| 事務局 | 第2次総合振興計画においても、ラグビーワールドカップを契機として、レガシーの創出を図り、この施設を「スポーツ交流拠点」と位置付けているので、県との協力体制で進めていきたい。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-------------------------|--|
| 委員 | 熊谷郵便局前の空き地について聞きたい。県との絡みで進んでいないと聞いているが進捗状況はどうなのか。市の考え方を聞きたい。市は要望をしているのか。 |
| 事務局 | 県の予算が凍結している現状であるが、県担当者と調整している。商工会館等の課題も承知しているため、県のプランとすり合わせながら進めていきたい。 |
| 委員 | 市発展の重要な施設なので早めに方向性を出してほしい。 |
| 委員 | 空き店舗率の業種別、サービス業や物販の比率の割合は分かるか。手だてを考えるためには分析が必要である。 |
| 事務局 | 業種別の空き店舗率の数値の有無を担当課に確認し、次回の会議に提示したい。 |
| 委員 | K P I、指標が漠然としていてイメージがわからない。数字に至ったプロセスがわかるものの提示を希望したい。 |
| 事務局 | 会議資料は一部の指標のみの掲載のため、分かりにくい部分もあるので、必要に応じて政策の説明を今後させていただく。なお、個別の政策は、「人口ビジョン・総合戦略」の中に掲載しており、各政策について拡大や修正をして進めているため、こちらも御一読いただきたい。 |
| (2) 本年度の取組状況について | |
| 事務局 | 資料3 本年度の取組について説明 |
| 委員 | くまびあの方面に向かうゆうゆうバスはあるのか。子育てネットくまがやが受託した、くまっぺ広場第2がくまびあ内にあり、車を持たない親子の利用が難しく、近くにバス停設置を望む声大きい。路線バスのバス停から歩いて来られる方もいるが、今後、くまびあ近くにゆうゆうバスのバス停が設置される見込みはあるのかお聞きしたい。 |
| 事務局 | 本年10月のゆうゆうバスダイヤ改正の中には盛り込まれていないが、今後の公共交通会議の中でも要望事項として検討していきたい。 |
| 委員長 | ワールドカップに向けて、市内各所で道路整備を行っている。くまびあの南側には、西環状線という国道17号から407号に抜ける道路を整備している。くまびあ前のバス停が設置できれば大変便利だとは思いますが、こうした道路事情もあって難しい。とはいえ、道路整備後、民間バス会社とも協議し、要望に応えられるか検討していきたい。 |
| 委員 | 一点目として、K P Iに誘致企業が入っているが、撤退企業のことは触れていない。全体で考えなければならない問題だろうと思う。また誘致対象として加わった業種は、農業、宿泊、医療であるが、未来投資促進法で推進していく分野は、スポーツ、観光、健康分野である。この分野についてどう考えているのか。二点目として、妻沼高校での企業説明会は、同様に熊谷の高校では実施しないのか、親世代が大企業優先の傾向にあるとはいえ、行政と民間によって先生や親を納得させる取組がなければならない。女子生徒も、子育てを親元で出来るのが理想である。三点目として、市民ライターによる観光情報誌は評判がいい。だからこそ、次の手だてを考えなければいけない。育った若い目を摘んではいけない。 |
| 事務局 | 条例制定は、法制定の前であり、小麦を始めとする主力産業である農業、市内に集積のある医療分野、ラグビーワールドカップを控えた宿泊業が選定された。今後必要な分野 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----|--|
| | は、担当課と検討していきたい。 |
| 事務局 | 企業説明会は妻沼高校3年生対象で108人、10社が集まった。主催のくまがや市商工会や包括連携を締結した埼玉りそな銀行と、良かった点や反省すべき点を検討している。企業とフェイストゥフェイスで出来るという利点を生かして範囲を広げられれば良いと考えている。 |
| 委員長 | 委員さんの御意見として、生徒だけでなく、親世代や先生を取り込むようなやり方を検討するという御提案だろうと思う。 |
| 事務局 | 現状では、観光情報誌政策を通して育成した市民ライターを今後どう生かしていくかを提示できないが、皆さんが活躍できる場を検討し提供していきたいと思う。 |
| 委員 | 郵便局前の土地の開発について、上位構想が円滑に進むように国や県から職員の派遣を受け入れて、県との連携を密にしてはどうか。また、市内にはシャッター通りが増えていて空き店舗も増えている。情熱、やる気がある若い人が相談に来られる体制、若手経営者の意見を商店街やまちづくりに反映できる開かれた体制が必要である。さらに、熊谷は子育て拠点等は充実していると思う。しかし、夜間の第2次救急、小児医療体制が不足している。県外に救急車で運ばれることもある。お子さんを持つ家庭が、夜も安心できるような取組をお願いしたい。 |
| 事務局 | 市から県への派遣は行っているが、県からの派遣は受けてはいない。北部拠点については県と情報交換も行っているので継続していきたい。医療分野については、担当部署は市民部になるが検討していきたい。IoTの時代の中で、熊谷市はスポーツの活性化が重要な要素となっていることから、ソサエティ5.0等国の政策のうち、本市が生かせるものがあれば検討していきたい。 |
| 委員 | 企業誘致で誘致する宿泊業も、ワールドカップの後、人が宿泊するイベントが必要である。一歩踏み込んでトップリーグ、パナソニックのホームとしての誘致を、県と連携して進めてはどうか。 |
| 事務局 | トップリーグの誘致に関しては、パナソニックとの協議の予定もある。現在の拠点がある群馬県、埼玉県、パナソニック、本市、それぞれの意向があるため、話し合いの場を検討している。宿泊についても、一過性ではなく恒常的に交流する人口が保たれるように、魅力を持たせる仕組みづくりを考えていきたい。 |
| 委員 | 病児保育の利用率や保育コンシェルジュの利用者数等をお聞きしたい。 |
| 事務局 | 病児保育は、4、5月の利用は30名、定員は1日8人までである。今後、情報が周知されていけば、急な病気にも安心して子どもを預け、働くことが出来るのではないかと思う。コンシェルジュの業務については、くまっこる一むに相談に行かれるお母さんもおられるので、こちらは主に保育所入所の相談を受ける形で、職員のフォローを行っている。必要な部署に取り次ぐなど円滑に運営していると聞いている。利用者に関しては把握していないが、今後わかればこの場で報告したい。 |
| 委員 | 病児保育は評判が良いので、お聞きしたいと思った。 |
| 委員 | 保育園の現場では、保育士不足で、希望通り入れない状況である。年度途中の入所がで |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----|---|
| | <p>きるよう、保育園でも努力してはいるが保育士がいないことには難しい。7月は市内でも受け入れゼロの保育園が多いと思う。籠原地区は満杯である。是非行政側でもいい手立てを考えていただきたいと思っている。また実態として、民間の保育士紹介業が盛んで、高い紹介料なども発生している。近隣への保育士流出も深刻で、人件費の格差が大きい。</p> |
| 委員長 | <p>保育士のお給料は、国の補助金も関係する。我々公務員には地域手当という、地域の物価の格差を是正するための給与算定基礎がある。保育士の補助金についても、その地域手当が影響している。熊谷市と東松山市、深谷市では異なり、熊谷市が不利な状況にある。折に触れて、最重要課題として、国へ不合理改善を要望している。公立保育所の採用についても、合格者のうち入庁は半数で、残りは県南等に流れていくという傾向にある。福祉部にも保育の現況をお話いただければありがたい。この会議でもいただいた御意見として受け止めたい。</p> |
| 委員 | <p>観光入込客数の目標はあるが、市内の経済活動につながらなければ意味がない。企業版ふるさと納税の事業である「ラグビーによるまちづくり」で、稼ぐ力の計画とはどういうものか。</p> |
| 事務局 | <p>ワールドカップ開催時のファンゾーンの計画を想定している。スポーツ文化公園では、スポーツ以外のイベントも含めて利用促進を進め、消費活動につなげていきたいと考えている。スポーツコミッションの方法も含めて担当部署と検討していきたい。</p> |
| 委員 | <p>子育て世代は地域に出ていくことを躊躇している現状がある。また共働き、時間的に余裕がないなどの理由で、地域活動に参加したくてもできない状況がある。熊谷の特色や伝統を伝承していくためにも、地域との関わり合いが重要だと思うので、地域とのワークショップ開催等を検討していただきたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>空家の条例は、特別措置法に基づく条例か。県内の複数の市町でも制定されている新聞記事を見た。熊谷市は遅いのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>特別措置法に基づく条例になる。特定空家への緊急安全措置を可能とするものとして、何ができるかを含めて準備をしている。3月に熊谷市空家等対策計画を策定し、定例会でも一般質問をいただいている。9月議会会期に向けて準備しているところである。</p> |
| 委員長 | <p>補足すると、これまで自治会の協力をいただき、数年かけて実態の把握に努めたことである。条例を制定するためのパブリックコメントを6月から実施している。「こういう内容で条例を制定したい」ということで意見をいただくこととしている。特定空家にそれなりの措置が出来るような条例制定に向け段取りを進めている。</p> |
| 委員 | <p>不育症に関する助成事業はいいことだと思う。周知の仕方はどのように考えているか。出産・子育てを考えている方の経済的負担軽減のために、頼りになるものだと思う。</p> |
| 事務局 | <p>不育症の定義は難しいが、2回以上の流産を繰り返す症状がある方などをいう。検査費について、熊谷市では県の補助に1万円上乗せして補助する。治療費は県補助がなく、市が独自に行うものである。不育症に悩む方の人数は不明であり、受診できる医療機関も限定的であるが、医療機関の協力もいただき、広報誌掲載などの広報の方法を検討し</p> |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----|--|
| | ていきたい。 |
| 委員 | 大阪の地震を受けて、既存のインフラ、ブロック塀の状況について市はどう考えているか伺いたい。 |
| 委員長 | 学校関係の調べは済んでいる。建築基準法に適合しない学校は13校ある。保育所や公民館などの市有施設の調査をしているところで、今後、順位付け等をしながら、緊急性があれば予備費、または来年度当初予算で対応していく。民間で建てているものに関して、民間が行う除去に対して市が補助する制度はない。県内の補助制度も調査して制度を作るかどうか、所管に伝えて検討したい。 |
| 委員 | アセットマネジメントについて熊谷市基本計画の見通しを教えてください。40年間で4割削減だったと思う。 |
| 事務局 | 個別計画策定に向けて動いている。今後、それぞれの施設ごとに地元の方々と協議していくことになる。 |
| 委員長 | その他、御意見がなければ終了とする。委員の皆様にはそれぞれのお立場からの御意見をいただき、感謝申し上げます。事務局は持ち帰り、次回の会議には報告できるようにお願いしたい。御協力ありがとうございました。 |
| | 今後のスケジュールについて |
| 事務局 | 次回有識者会議は来年2月の開催を予定している。本年度の実績見込みの報告を行い、今後の施策の方向性についてご審議をいただく予定である。 |